

平成24年第4回

小中学校組合議会定例会会議録

開催日 平成24年11月21日

南あわじ市・洲本市小中学校組合

平成24年第4回 南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会

平成24年11月21日(水)

午後 2時10分 開議

議事日程 (第1号)

- 日程第1. 会議録署名議員の指名
- 日程第2. 会期の指定
- 日程第3. 認定第1号 平成23年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第4. 議案第4号 平成24年度南あわじ市小中学校組合一般会計補正予算(第1号)

会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 認定第1号
- 日程第3 議案第4号

出席議員（9名）

1 番	山下勝久君	2 番	萩原宗治君
3 番	岡崎稔君	4 番	岩橋久義君
5 番	木下義壽君	6 番	中島義晴君
7 番	多田宗儀君	8 番	楠和廣君
9 番	森上祐治君	10 番	小島一君

欠席議員（0名）

事務局出席職員職氏名

教育総務課長	片山勝義君
教育総務課課長補佐	坂田真由美君

説明のため出席した者の職氏名

管理者南あわじ市長	中田勝久君
副管理者洲本市長	竹内通弘君
副管理者南あわじ市副市長	川野四朗君
組合教育長	岡田昌史君
洲本市教育長	河上和慶君
教育部長	岸上敏之君
教育部次長	太田孝次君
学校教育課長	安田保富君
学校教育課主幹	蔵本幸之君

午後2時10分 開会

○議長（小島 一君） 開会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、平成24年第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会が招集されましたところ、議員並びに執行部各位には、公私何かとご多用のところご出席いただき、ここに開会の運びとなりましたことを心から厚く御礼を申し上げます。

さて、本日付議されます案件は、平成23年度一般会計歳入歳出決算及び平成24年度一般会計補正予算であります。議員各位には、慎重ご審議の上、適切なご決定を賜りますようお願い申し上げ、開会に当たってのあいさつといたします。

続きまして、管理者 南あわじ市長 中田勝久君よりあいさつがございます。

市長 中田勝久君。

○管理者（南あわじ市長 中田勝久君） 皆さんこんにちは。11月も末を迎えてきますと、朝晩、めっきり寒さを感じるようになりました。きょうは平成24年度第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会、皆さんお元気でご出席賜りましてまことにありがとうございます。

この1年を振り返ってみますと、やはり大きな教育の関係では、あの大津市のいじめ、自殺ということが大変大きなニュースで取り上げられまして、いろいろな地域でも学校でも大変な対応が迫られた、そんな思いがいたします。何とか子供たちが安心して、お互い、勉学に励めるようできればなというふうに思った次第でございます。

今も議長さんのほうからお話がありましたきょうの案件につきましては、認定第1号、平成23年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定、議案といたしまして第4号、平成24年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）でございます。どうぞ、慎重ご審議、適切妥当なご決定をいただきますようお願いを申し上げまして、開会に当たってのごあいさつにかえさせていただきます。

○議長（小島 一君） ただいまの出席議員は10名であります。

定足数に達しております。

よって、平成24年第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会を開会します。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

直ちに日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第79条の規定により、議長より指名をいたします。

2番 萩原宗治君、3番 岡崎稔君にお願いをいたします。

日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。

今期定例会の会期は、本日1日間にしたいと思えます。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(小島 一君) 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間に決定をいたしました。

次に、日程第3に入る前にお諮りをいたします。

上記上程議案による説明のために、担当の蔵本幸之主幹と坂田真由美課長補佐の出席を求めていますので、あらかじめご了承のほどをお願いいたします。

それでは、日程第3、認定第1号、平成23年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

教育部長 岸上敏之君。

○教育部長(岸上敏之君) ただいま上程いただきました認定第1号、平成23年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計決算の認定について、提案理由のご説明を申し上げます。

本件につきましては、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の審査意見をつけ議会の認定に付するものでございます。

事業及び決算の概要をご説明申し上げます。

本年度は、「次世代の人材を育てる学校教育」を基本目標に五つの重点課題を掲げ、自立した社会の一員としての基礎を培う場として、確かな学力や学ぶ意欲、共生する豊かな心の育成を目指しました。

こうした結果、平成23年度一般会計決算額は歳入総額1億5,149万6,303円。歳出総額1億4,541万1,922円。歳入歳出差引額608万4,381円となっています。

なお、決算にかかる歳入予算に対する収入割合は99.3%、歳出予算での執行率は95.3%となっております。

決算書の5ページ、6ページをお開き願います。事項別明細書でご説明申し上げます。

まず、歳入でございます。

1款、分担金及び負担金、1項、分担金1億4,137万8,000円でございます。分担金につきましては、学校基本調査の児童生徒数により按分し、南あわじ市が1億3,082万6,000円、洲本市が1,055万2,000円でございます。

2款、使用料及び手数料、1項、使用料48万7,000円。広田小学校、広田中学校の体育施設使用料でございます。

3款、国庫支出金、1項、国庫補助金2万5,000円。特別支援教育就学奨励費補助金でございます。

4款、県支出金、1項、県補助金120万2,000円でございます。小学校体験活動事業補助金63万6,000円、トライやるウィーク推進事業補助金30万円、わくわくオーケストラ教室バス利用補助事業補助金6万2,000円、理科おもしろ推進事業委託金20万4,000円でございます。

5 款、寄附金については収入がありません。

6 款、繰越金 2 8 6 万 8, 8 9 0 円、前年度繰越金でございます。

7 款、諸収入、1 項、受託事業収入 5 1 4 万 9, 0 0 0 円でございます。これは倭文小学校、倭文中学校の給食事務受託収入でございます。2 項、雑入 3 8 万 6, 4 1 3 円でございます。

次に、歳出でございます。9 ページ、1 0 ページをお開き願います。

1 款、議会費 7 5 万 4, 3 9 3 円でございます。定例会 2 回、臨時会 1 回にかかる経費、議員報酬が主なものでございます。

2 款、総務費、1 項、総務管理費、1 目、一般管理費 2 1 8 万 1, 9 5 2 円でございます。特別職の給料、退職手当組合負担金が主なものでございます。2 項、監査委員費 7 万円でございます。

3 款、教育費、1 項、教育総務費、1 目、教育委員会費 1 0 7 万 2, 6 3 5 円。教育委員報酬、各種負担金が主なものでございます。2 目、事務局費 1, 4 8 5 万 6, 2 8 7 円。事務局職員人件費負担金が主なものでございます。3 目、教育振興費 1, 4 8 4 万 1, 0 4 6 円でございます。小中学校職員及び児童生徒にかかる各種検査委託料、教育用コンピューター保守管理委託料、小中学校就学援助費が主なものでございます。

2 項、小学校費、1 目、学校管理費 2, 2 4 7 万 2 6 6 円でございます。臨時職員の人件費、施設整備及び維持管理等にかかる経費が主なものでございます。2 目、教育振興費 9 2 1 万 1, 2 3 1 円でございます。教材用備品購入費、外国人講師招致事業負担金が主なものでございます。

3 項、中学校費、1 目、学校管理費 1, 7 5 2 万 4, 9 5 1 円でございます。職員の人件費、施設整備及び維持管理等にかかる経費が主なものでございます。2 目、教育振興費 8 1 7 万 8, 3 5 8 円でございます。教材用備品購入費、外国人講師招致事業負担金が主なものでございます。

4項、保健体育費、1目、学校給食施設費2,724万7,449円でございます。
職員の人件費、施設の管理運営等にかかる経費が主なものでございます。

4款、公債費3,621万4,585円でございます。長期借入金償還元金、長期借入金償還利子でございます。

5款、予備費については2万4,000円を3款、1項、4目、保健体育費の1節、報酬に充用しております。

29ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございます。

歳入総額1億5,149万6,000円、歳出総額1億4,541万2,000円、歳入歳出差引額608万4,000円、実質収支額も同額でございます。

次に、30ページの財産に関する調書でございます。土地及び建物、物品につきましては増減ございません。

なお、決算内容の詳細につきましては、別添決算附属資料、主要施設の成果及び予算執行の実績報告についてをごらんいただきたいと存じます。

慎重ご審議の上、認定賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（小島 一君） 提案理由の説明が終わりました。

質疑に入る前に、決算審査に当たられました監査委員から審査の結果について報告を求めます。

監査委員 岡崎稔君。

○監査委員（岡崎 稔君） それでは、私のほうから、平成23年度一般会計決算審査報告を行いたいと思います。

ただいま議題となっております認定第1号、平成23年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の審査結果につきまして、監査委員を代表して、私からご報告をさせていただきます。

平成24年10月19日、私と奈良委員が一般会計歳入歳出決算の内容について執

行部から説明を求め、慎重に審査を行いました。

審査に当たって重視したことは、予算が地方自治法第2条の規定に基づいて、経済的かつ効果的に執行されているか、また、会計経理事務が適正に処理されているかなどの点について、関係諸帳簿を照査しました。

その結果、計算係数は正確であり、学校組合の運営は適正に執行されていると認められましたので、ここにご報告申し上げ、決算審査報告といたします。

以上でございます。

○議長（小島 一君） 監査委員の決算審査報告が終わりました。

これより質疑を行います。

何か質疑はございませんか。

森上祐治君。

○9番（森上祐治君） 決算書の14ページ、教育振興費の小中学校就学援助費について若干質問いたします。

602万9,416円ということですが、附属資料のほうで就学援助費、小学校45人、中学校40人となっております。小学校6年間の1年生、6年生でトータル45人が就学援助を受けておると。中学校では3学年で40人と。何か中学校になったら2倍の率になってるという、この辺の背景、その家庭事情とかいろいろあると思うんですが、わかってましたらお教えいただきたい。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） 就学援助費でございますが、市、組合、小中学校全て同じ基準で行っておりますので、特に数字につきましては学校ごと、学年ごと、校種ごとで差はございます。このような結果になっておると。

市のほうの数字を申し上げますと、小学校で314人、割合で13.48%、中学校で193人、割合で15.43%。平均しますと507人で、14.16%でございます。

組合のほうも平均をいたしますと85人で、14.33%ということで、全体の割合からいきますと、そう変わりはない。たまたま中学校のほうが割合が高くなっているというような結果でございます。

○議長（小島 一君） 森上祐治君。

○9番（森上祐治君） ほかの学校の状況とあんまり率が変わらないということなんですけども、その辺、ちょっと今のご説明ではちょっと解せんところがあるんですよ。

中学校になったら、例えば広田小中学校の場合は同じ人数、大体、広田小学校の子が中学校に行くと、基本的に。納地区とか洲本からも入ってくるんですけども、余りにも率が2倍になってると。市内の中学校も大体、中学になった途端に就学援助の率が小学校の子供に比べたら2倍になっているというのは、ちょっとこの辺どないなってるのかなというようなことがわかりにくいんですが。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） 中学校になったら多いというようなことでございますが、今、組合のほうの小学校は率で13.4%、それがそのまま学年が進行していきますとふえていくかという、そうではないというふうに思っておりますので、やはり学年によって、学校によって、その率はさまざまでございます。

○議長（小島 一君） ほかに質問はございませんか。

楠和廣君。

○8番（楠 和廣君） 決算書の14ページの学力テストデータ処理業務委託料ということで計上されておるんですが、この学力テストの結果と学力レベルについて触れると、何科目を学力テストされたかお聞かせ願いたいと思います。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） 平成23年度におきましては、東日本大震災がございまして、これは文部科学省が行っている全国学力学習状況調査のデータの処理業務でございます。

学年は小学校6年生と中学校3年生、科目につきましては、小学校で算数と国語、中学校で数学と英語ということでございます。

この全国学力学習状況調査が始まったころは文部科学省で悉皆調査といいまして、全ての学校が参加して全ての集計を文部科学省がするというような形で行っておったわけですが、昨年度は全く文部科学省は調査を行わず、問題ができておりましたので、希望する学校にはその問題を配って調査を実施しても構わないということで、南あわじ市につきましても全ての学校で参加をいたしました。

ただ、集計のほうはしていただけませんので、市のほうで予算をとって集計をしたということでございます。

○議長（小島 一君） 楠和廣君。

○8番（楠 和廣君） 市内全校で実施されたということですが、その集計結果と県下とか全国平均レベルから言うたらどういうレベルの結果が出ておるんですか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） 全てのところで昨年集計をいたしました。先ほども申し上げましたように、昨年は文部科学省の調査は行っておりません。ただ、全国集計であるとか、県集計というのがなかったものですから、比較するものがないということで、それぞれの学校で過去からずっとデータのものをとっておりますので、それに基づいて、よかったところはよしと、悪かったところはまた改善プランというのを立てまして、ことしは取り組んでおるところでございます。

○議長（小島 一君） 楠和廣君。

○8番（楠 和廣君） 全国的にとりか県平均は集計がされておらんということで、今まで過去に学力テストを実施したと思いますが、過去のテスト結果から見て、このたびの学力テストはどのような単位ですね、単位としてどのような結果が出たのかちょっと報告願いたいと思います。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） それぞれの学校でやっておりますが、市全体といたしましては、特にテストにおきましては知識を調べる問題と、活用力を調べる問題がございます。

知識を調べる問題につきましてはほぼ、これまでも全国平均かなというように思いますが、やはり活用ということで若干課題がある問題があったと思います。

○議長（小島 一君） ほかに質問はございませんか。

森上祐治君。

○9番（森上祐治君） 同じく14ページの登校対策指導員人件費負担金215万4,000円についてお尋ねいたします。

広田小中学校でも緑庁舎のほうで、いわゆる適応教室が開設されておりますけども、この平成23年度の実態ですね、現状はどうだったのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） 平成23年度はおおむね3名の通室生がおります。

倭文中学校から2人、広田中学校から1人というような現状でございました。

○議長（小島 一君） 森上祐治君。

○9番（森上祐治君） ちなみに、平成24年度は教室には誰もいないということをお聞きしたんですけども、市内全域の状況からして、今のこの市内の適応教室について、どのように基本的に教育委員会として考えられてるのか。今後、何らかの改革をしていく新しい動きなんかを考えられているのか、その辺のことをお尋ねします。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） 本年度につきましては、緑適応教室につきましては、今、通室生はゼロでございます。

他の、三原、南淡、西淡、それぞれ通室生がおります。指導員につきましては、緑と三原が2教室あるんですが、指導員が3名と。あとの南淡、西淡につきましては、

それぞれに2名ずつということで、緑、三原につきましては1名が兼務をしておると
というような状況でございます。

適応指導教室につきましては、南あわじ市も非常に広域、面積も広いものでござい
ますので、やはり自分の中学校の近いところにその教室があるということが望ましい
と思いますので、できるだけ旧4町の形で4教室の維持をしたいというふうに考えて
おります。

○議長（小島 一君） 森上祐治君。

○9番（森上祐治君） 今のご答弁で理解したんですけども、私の聞くところによると、
県下の他の市町村では、こういう厳しい財政状況の中で、いわゆるセンター方式にし
ていこうとか、中央に集約して1カ所で集めて市内から子供を集めようというような
動きがあるやにも聞いておるんですけども、その辺は基本的に教育委員会としてはお
考えではないというふうな認識でよろしゅうございますか。

○議長（小島 一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（安田保富君） 先ほど申し上げた理由で、できるだけ近いところにあ
るほうが通いやすいというふうに考えておりますので、そういう考え方でございます。

○議長（小島 一君） ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 質疑なしと認めます。

質疑を終結いたします。

お諮りをしたいと思います。

本案については、討論を省略して、直ちに採決したいと思います。これにご異議
はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 異議なしと認めます。

よって、さように決しました。

これより、認定第1号、平成23年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(小島 一君) 異議なしと認めます。

したがって、認定第1号、平成23年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

日程第4、平成24年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算(第1号)を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

教育部長 岸上敏之君。

○教育部長(岸上敏之君) ただいま上程いただきました議案第4号、平成24年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算(第1号)について、提案理由のご説明を申し上げます。

1ページをお願いいたします。

第1条で、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ39万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9,723万3,000円とするものでございます。

続きまして、4ページをお願いいたします。歳入歳出予算について、事項別明細書をもってご説明を申し上げます。

まず、歳入でございます。

6款、繰越金、1項、繰越金39万円を追加し、39万1,000円とするものでございます。前年度の繰越金の一部の追加でございます。

次に、5ページをお開き願いたいと思います。

歳出でございます。

2 款、総務費、1 項、総務管理費、1 目、一般管理費 6, 0 0 0 円の追加でございます。地方公務員災害補償基金負担金の追加でございます。

3 款、教育費、3 項、中学校費、1 目、学校管理費 1 1 万円の追加でございます。学校用務員賃金の追加でございます。4 項、保健体育費、1 目、学校給食施設費 2 7 万 4, 0 0 0 円の追加でございます。給食センター職員の人件費の調整でございます。詳しくは 6 ページから 8 ページをごらんおきください。

以上で、平成 2 4 年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第 1 号）の説明とさせていただきます。

慎重ご審議の上、ご決定を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（小島 一君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 質疑がないようでございますので、これにて質疑を終結いたします。

お諮りします。

本案については、討論を省略し、直ちに採決したいと思います。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小島 一君） 異議なしと認めます。

よって、さよう決しました。

これより、議案第 4 号、平成 2 4 年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第 1 号）を採決します。

お諮りします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(小島 一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第4号、平成24年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算(第1号)は、原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

会議を閉じます。

平成24年度第4回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会を閉会します。

副管理者 洲本市長 竹内通弘君よりあいさつがございます。

竹内通弘君。

○副管理者(洲本市長 竹内通弘君) 閉会に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

本日はご多忙の中にもかかわらず、議員の皆様には当定例会にご出席を賜りましたことお礼を申し上げます。

ご提案いたしましたのは、平成23年度当学校組合の一般会計歳入歳出決算認定案件、並びに職員の人件費等にかかる一般会計補正予算(第1号)の2件でございましたが、慎重なる審議をいただき、適切なるご決定をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、ことしも残すところあと一月となりました。各位におかれましては師走を控え公私とも大変お忙しいことと存じます。また、急な気候の変化もございます。くれぐれもご自愛いただきたいと思います。

また、そろそろインフルエンザ等もはやり始める季節になりました。小中学校ではやりだしたとかの声はまだお聞きしていませんが、生徒さんたちには風邪など引かず、元気で健康にてこの冬を過ごしていただきたいと念じているところでございます。

最後になりましたが、皆様方のますますのご活躍とご健勝をご祈念申し上げまして

閉会のあいさつとさせていただきます。

本日はまことにありがとうございました。

○議長（小島 一君） 閉会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

本定例会では、平成23年度の一般会計歳入歳出決算及び平成24年度一般会計補正予算につきまして審議をお願いいたしましたが、議員各位のご精励により無事議了し、閉会を宣告できましたことはまことにご同慶の至りでございます。

先ほど、竹内市長もおっしゃられましたように、間もなく師走となって寒さが日ごとに加わってまいります。議員各位をはじめ、執行部の皆様方にはお体をご自愛なされましますますのご活躍を心からお祈り申し上げ、閉会のあいさつといたします。

本日は、どうもありがとうございました。

午後2時45分 閉会